

令和8年2月
長洲町役場総務課

旧長洲中学校の利活用に係るサウンディング型市場調査の結果概要について

旧長洲中学校の跡地を有効活用するため、その活用方法について民間事業者から広くアンケートで意見・提案を求め、「対話」を通して市場を把握する「サウンディング型市場調査」を以下のとおり実施しました。

1. 調査の概要

(1) 調査の名称

旧長洲中学校の利活用に係るサウンディング型市場調査

(2) 調査対象地

旧長洲中学校の跡地

(所在地：熊本県玉名郡長洲町大字長洲字新山 805-1)

(3) 敷地面積

21,614.00 平方メートル

(4) 調査の経過

(1) 実施要領の公表	令和7年11月14日（金曜日）
(2) アンケート受付期限	令和7年12月1日（月曜日）
(3) ヒアリング調査	令和7年12月23日（火曜日）

2. 調査の結果

(1) 参加状況

- ・参加事業者数 : 1社（学校法人）

(2) 対話概要

①活用の内容

- ・広域通信制高等学校

②事業方式

- ・多様な事業方式の可能性

③地域貢献の方法

- ・若者が訪れる拠点の創出
- ・関係人口の増加
- ・地域連携と雇用機会創出
- ・公共施設価値の再生

④事業者からの主な意見

- ・長洲町を九州における広域通信制高校の拠点とし、長期的な視点で継続運営することで、地域の教育拠点性向上に貢献できる。
- ・地域資源を活かした体験学習等を通じ、交流促進と関係人口の創出に寄与できる。
- ・施設の地域開放と避難所機能の継続により、地域の安全・安心に貢献できる。

(3) 調査結果のまとめと今後の方向性

本調査により、旧長洲中学校を活用した広域通信制高校の開校について、事業者から継続的な運営意向と地域貢献への姿勢が示され、教育・地域活性化の両面で実現可能性の高い提案であることが確認されました。

今後は、広域通信制高校の開校に関する考え方を整理する中で、地域利用や防災対応等について情報整理を行うとともに、町と事業者との意見交換を行っていくこととします。